

## 診療所インフォメーション

高萩診療所編

大竹看護師からひとこと



見なおしましょう！自分の健康！！

はじめまして。1月から高萩診療所で勤務しております看護師大竹です。  
私は、看護師国家資格取得後、臨床に長く携わっておりましたので、事業所での診療所の仕事はまだ未知の部分が多く、諸先輩のお力を借りながら健康管理業務に取り組んでおります。高萩・新潟地区の皆さまには、大変ご不便をおかけしておりますが、私の実践知を少しずつ伝達して行きたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

「糖尿病療養指導士」ご存知ですか？



糖尿病療養指導士とは、糖尿病治療にもっとも大切な自己管理（療養）を皆さんに提供する医療スタッフです。高度で幅広い専門知識をもち、糖尿病セルフケアを皆さんに支援していきます。

2001年に発足したCDEJ（日本糖尿病療養指導士）を前職で取得し、10年が経ちました。この間いろいろな合併症に悩まされた人や軽快された人。糖尿病療養支援に興味を抱くコメディカル教育に関わってきました。

成人の27%が糖尿病か予備群、4割は未治療



糖尿病は皆さんもご存じの通り、全ての慢性疾患を脅威にさらす病気です。「糖尿病だから血圧管理しないとね…」「糖尿病だから脂質代謝も…」「体重も…」よく聞かれますね。2013年5月の日本糖尿病学術集会で、「糖尿病人口は全国で700万人を超え、我が国は世界第9位にランクインした。」と報告がありました。

そして、厚生労働省の「2011年国民健康・栄養調査報告」で、糖尿病が強く疑われる人や可能性を否定できない「予備群」が合わせて27.1%と推計され、国民の4人に1人以上が糖尿病かその予備群であることがあきらかになりました。

今年の健診結果はいかがでしたか？

否定したい気持ちは十分わかります。

しかし、病気を見逃して取り返しのつかない状態になったら…治療にかかる費用も労力も時間も膨大なものになります。

早め早めのメンテナンスをおすすめします。

